



# 都城市・三股町在宅医療・介護連携推進協議会

## 多職種連携に関するアンケート調査結果報告

# ○調査概要

## 目的

現場に連絡ツールを中心とした連携の実態を知る  
ICTに関する興味関心、潜在的なニーズを探る

## 調査方法

都城・三股町に従事している医療介護者を対象とした  
紙面によるアンケート（無記名）

## 調査対象者

都城・三股町に従事している医療介護者  
令和元年度 地区別地域ケア会議出席者

## 調査期間

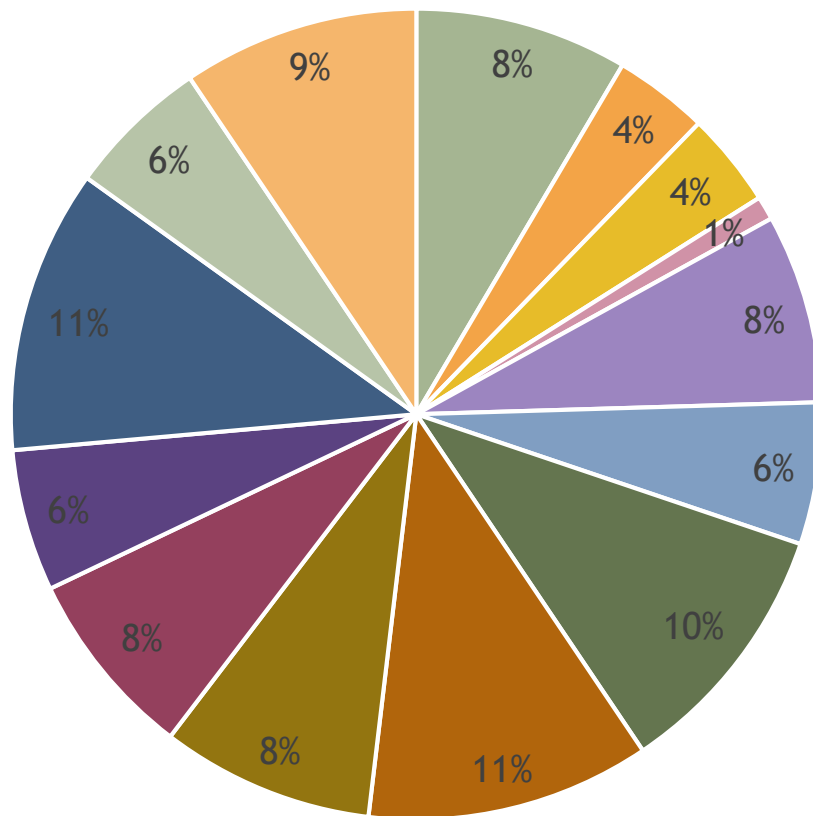
令和2年1月27日      ～      令和2年2月20日

## 有効回答数

110名

# ○回答者の内訳

職種



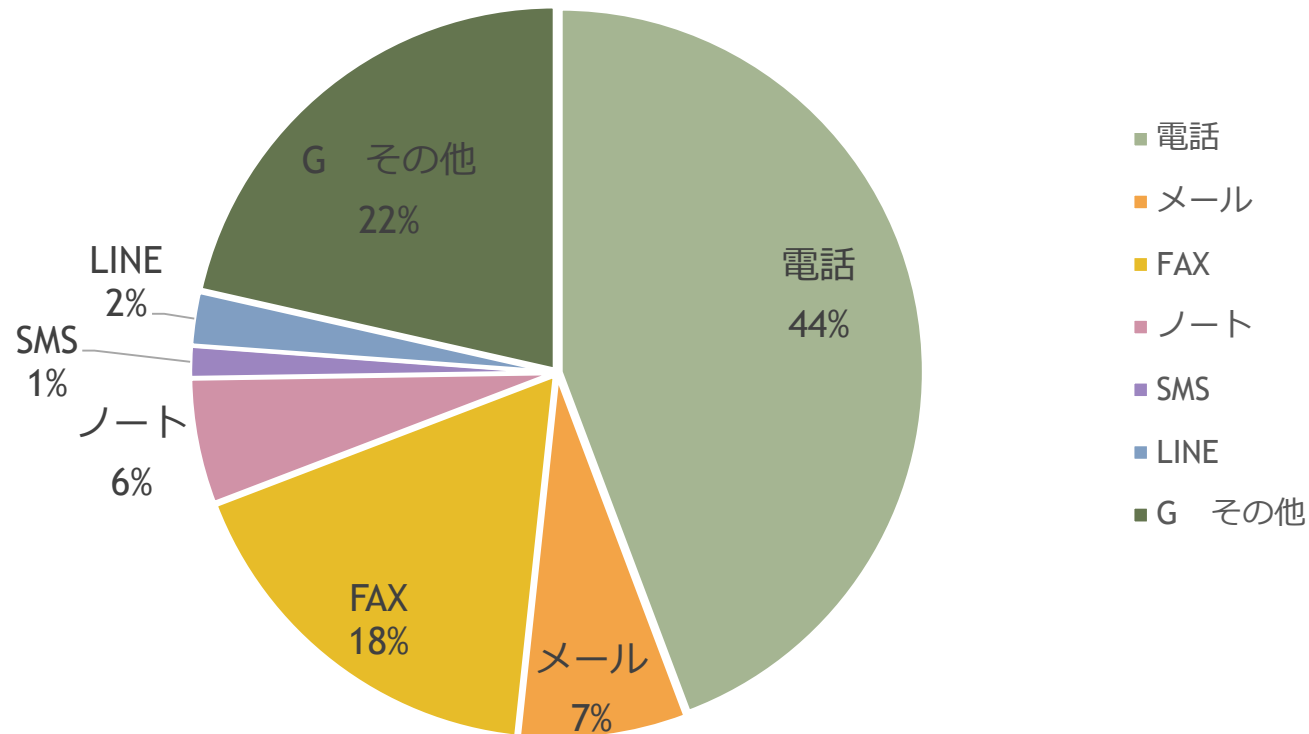
n = 110

- 医師
- 歯科医師
- 薬剤師
- 保健師
- 看護師
- 訪問看護師
- PT
- OT・ST
- 栄養士
- MSW
- 歯科衛生士
- CM
- 介護福祉士
- 地域包括支援センター

# ○使用している連絡ツール

- ・電話が最も多く44%、次いでFAX（18%）、メール（7%）
- ・LINEなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）も利用されている

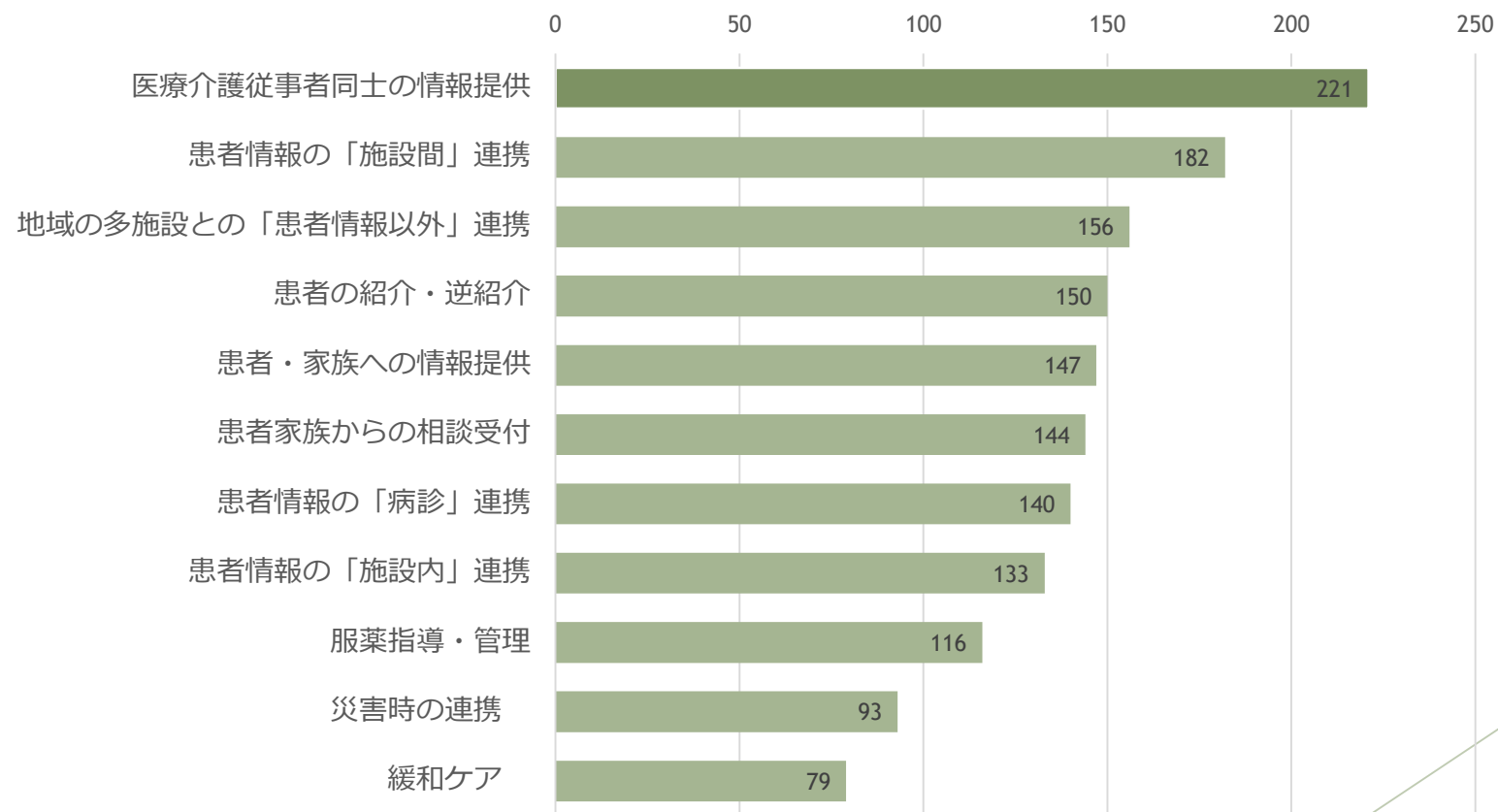
連絡ツールは何を使っていますか？



# ○情報交換の内容

- ・「医療介護従事者同士の情報提供」が最も多い
- ・さらに内訳を見ると、医療機関や福祉施設内配属者では「施設内」での連携が多く、在宅に何う配属者では「施設間」での連携が多い

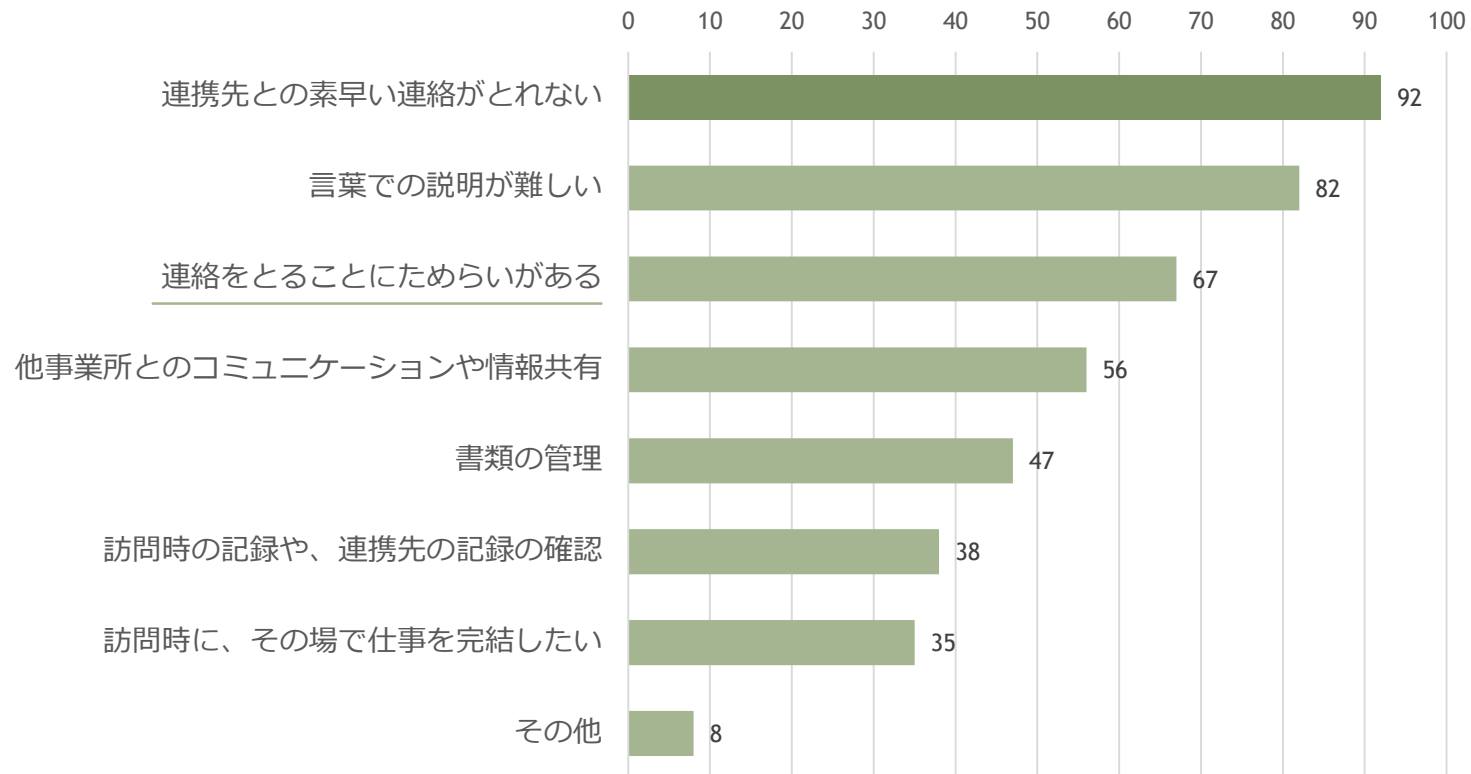
どのような情報交換をしていますか？



# ○情報交換における検討課題①

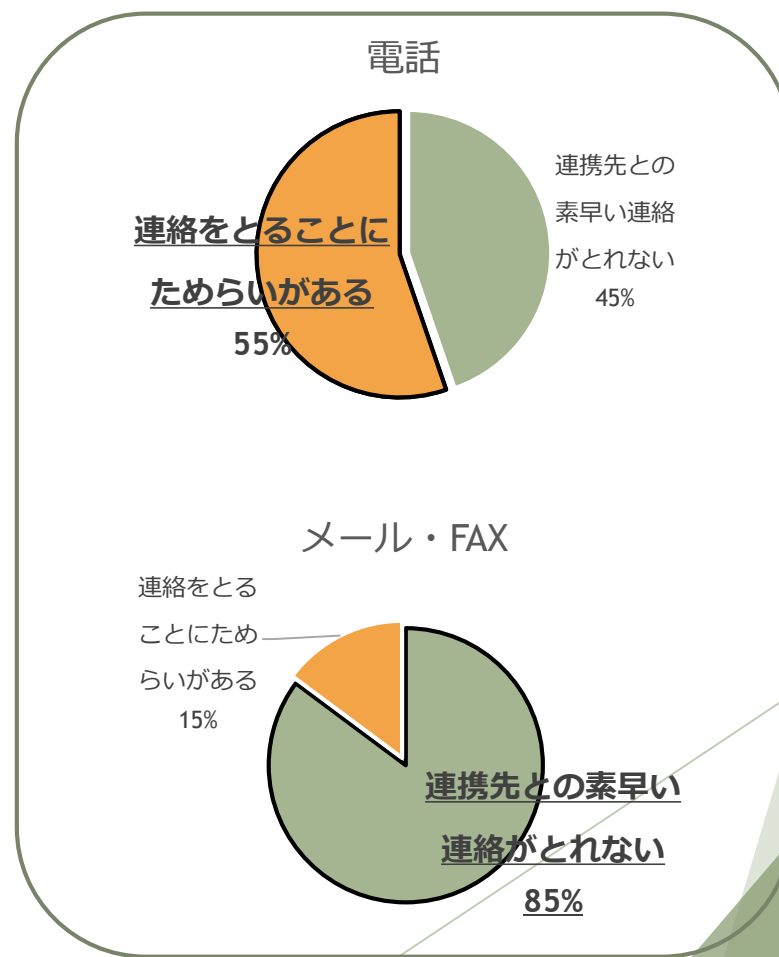
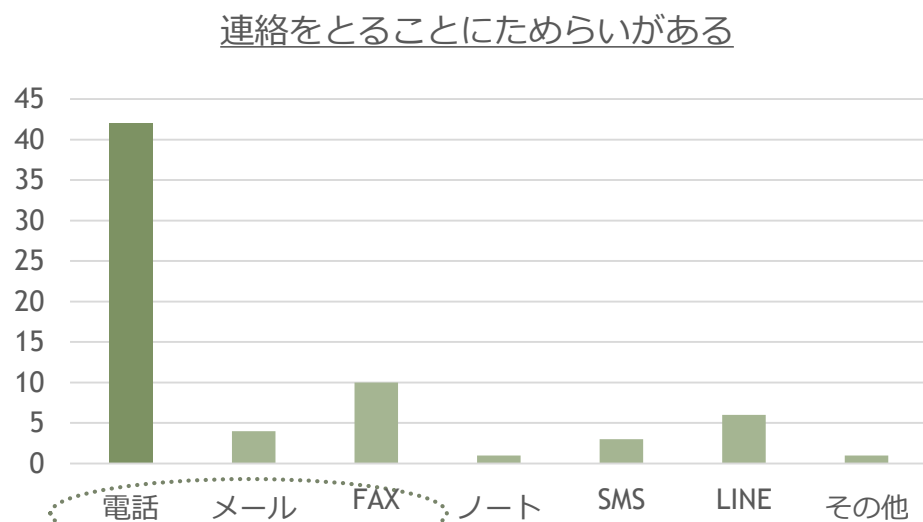
- ・「連携先との素早い連絡が取れない」との意見が最も多い
- ・「連絡をとること自体にためらいを感じている」との意見も少なくない

情報交換で困っていることは？



# ○情報交換における検討課題①

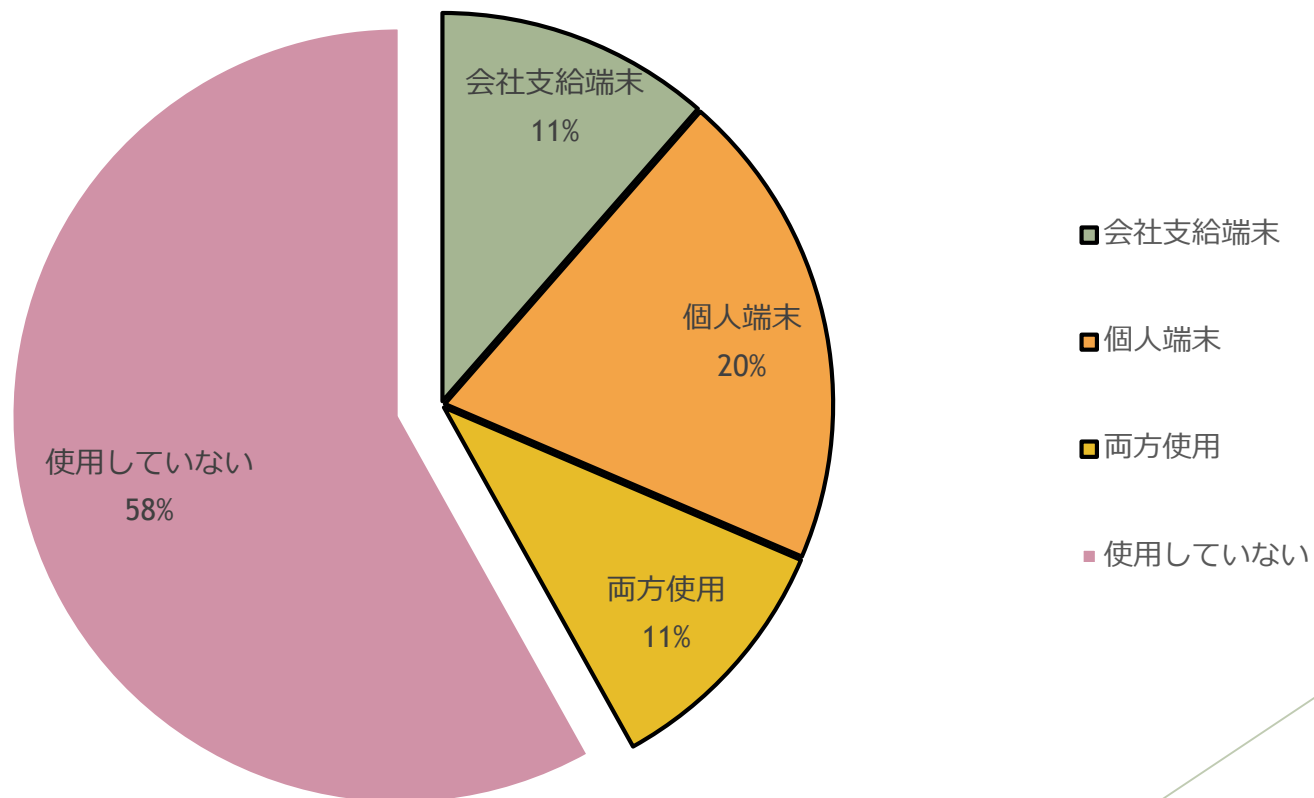
- ・ 連絡をとることにためらいを感じているのは「電話」が最も多い
- ・ 「メール」「FAX」では「ためらう」ことが少ない反面、「素早い連絡がとれない」と感じている人が多い



# ○情報端末について①

- ・情報端末を使用している 42%
- ・回答者の内、個人端末を利用 31%

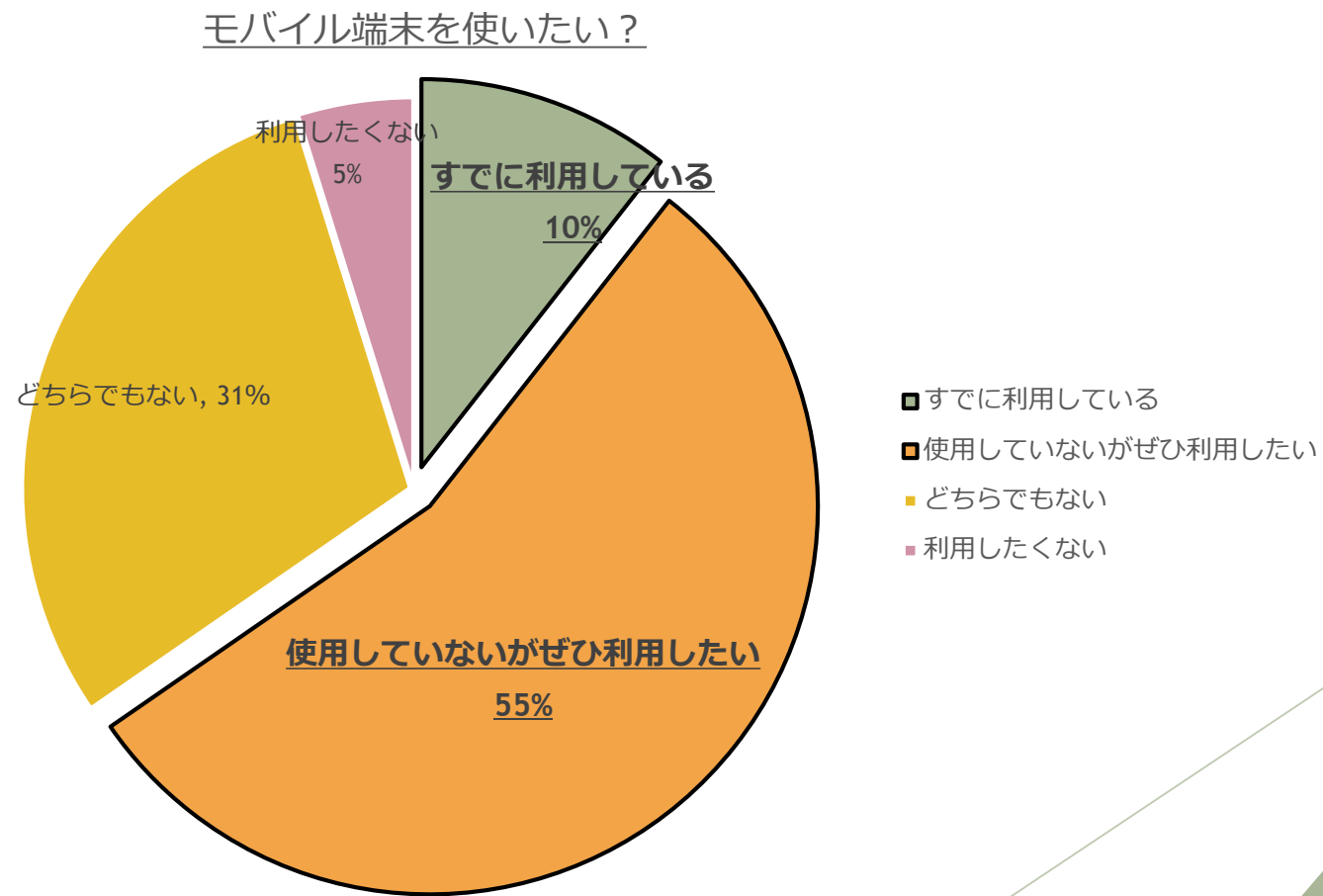
現在使用している端末は？





## ○情報端末について②

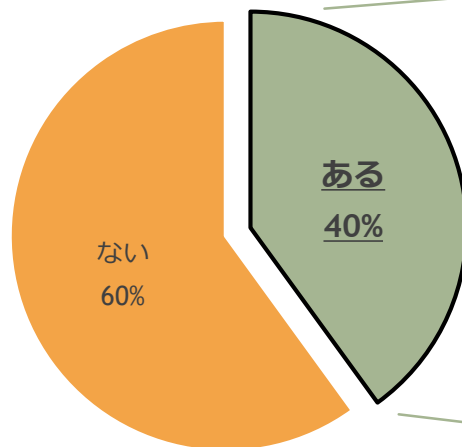
- ・モバイル端末（スマホ・タブレットなどの小型情報機器）を「すでに利用している」 10%
- ・モバイル端末を「利用したい」 55%



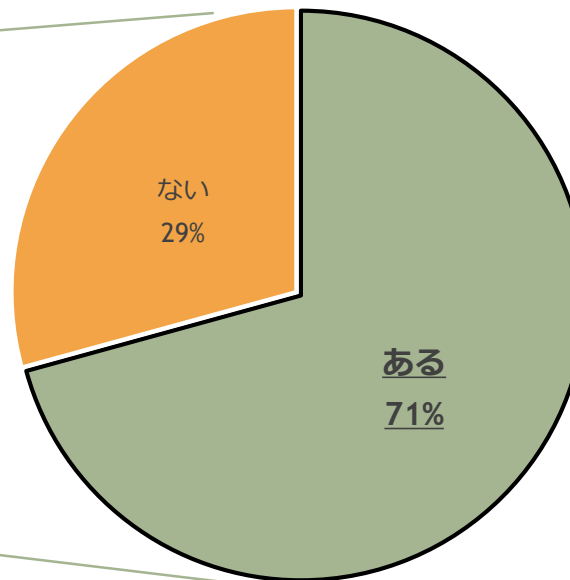
# ○個人情報管理①

- ・利用者情報のやり取りを「行っている」 40%
- ・その中で「やり取りに不安を感じている」 71%

利用者情報のやり取りは？



利用者情報のやり取りに不安は？



## ○個人情報管理②（セキュリティについて）

### どのようなセキュリティ対策を行っていますか？

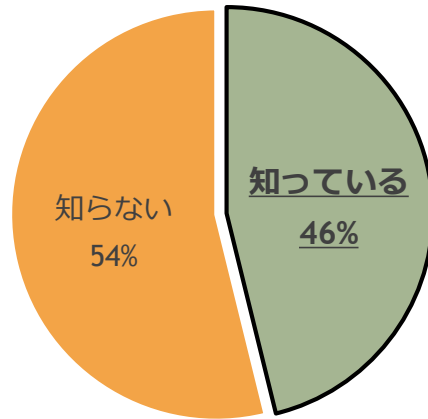
- ・ 所属団体案内のSNSを使用するようにしている
- ・ 社内研修に参加している
- ・ 社内規定の定めに従っている（USB等を含む情報の持ち出し禁止など）
- ・ ログインIDやパスワードを使用
- ・ セキュリティ対策ソフトを使用
- ・ インターネットの切断された環境で、情報を取り扱っている

- ・ 各個人の判断に委ねられている
- ・ 特に行っていない

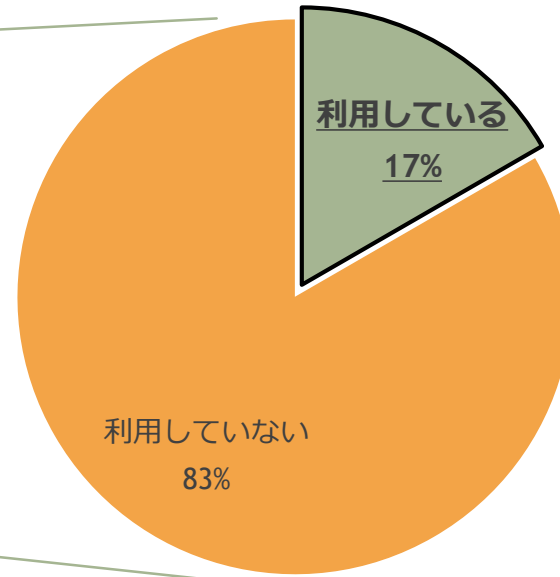
# ○メディカルケアステーション（MCS）について

- ・メディカルケアステーションを「知っている」 46%
- ・その中で「利用している」 17%

メディカルケアステーション  
を知っていますか？



メディカルケアステーション  
を利用していますか？



# ○メディカルケアステーション（MCS）について

- ・メディカルケアステーションについて、「高い関心」があることが伺える

メディカルケアステーション（MCS）  
に関心がありますか？

